

米国大学生の 64%、大学在学中に学期途中で資金不足を経験 (3月9日)

米国学資援助管理者協会 (National Association of Student Financial Aid Administrators : NASFAA) は 3月9日、大学進学計画・学費支払に関して必要な情報を学生及びその家族に提供するウェブサイトを経営するエドバイザーズ・ネットワーク社 (Edvisors Network, Inc) が実施した、大学生の財政事情に関する調査「燃料なしで走る ～2016年学期中間財政状況調査～ (2016 Running on Empty - Mid-Term Finance Survey)」の結果を明らかにした。本調査結果は、同社のウェブサイト「ScholarshipPoints.com」を利用した大学生 350人超による自発的回答を分析したもので、これによると、大学生の 64%が、大学在学中に学期の途中で資金不足になったことがあると回答していることが明らかにされた。また、資金不足となった理由には、不測の支出 (51%)、学資援助が不十分 (49%)、高すぎる教科書代 (49%)、財務事情の変化 (学生本人 42%、両親 31%) などが挙げられた。同社編集者のデービッド・レビー氏 (David Levy) は、学期途中で資金不足を回避するために、以下のように提案している。

- ・住居費・家賃、光熱費、携帯電話料金などを学期の最初に先払い。
- ・毎月支払いが発生するものは、自動引き落とし手続き。
- ・予測外の出費などの不測の事態に備えて少額の「緊急資金」を確保。
- ・毎年、各大学が定める優先手続締切日までに連邦学資援助無料申込 (Free Application for Federal Student Aid : FAFSA) 手続きを完了。
- ・学内奨学金の申込を学期途中で受け付けているか、学内の学資援助室 (Financial Aid Office) が緊急時用のローンプログラムを取り扱っているかなどを確認。
- ・各学期の支出計画を作成。
- ・中古教科書の購入・借用、大学図書館利用などにより、教材費を節約。

National Association of Student Financial Aid Administrators, Survey from Edvisors Shows Nearly Two-Thirds of Students Have Run Out Of Money Mid-Semester  
[https://www.nasfaa.org/news-item/7862/Survey\\_from\\_Edvisors\\_Shows\\_Nearly\\_Two-Thirds\\_of\\_Students\\_Have\\_Run\\_Out\\_Of\\_Money\\_Mid-Semester](https://www.nasfaa.org/news-item/7862/Survey_from_Edvisors_Shows_Nearly_Two-Thirds_of_Students_Have_Run_Out_Of_Money_Mid-Semester)